

福島第一原子力発電所の状況

平成 24 年 12 月 20 日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (12/20 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力*	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系:約1.9m ³ /h	23.5	107.5 kPa abs	A系: 0.11 vol%
		給水系:約2.3 m ³ /h			B系: 0.09 vol%
2号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系:約3.5m ³ /h	37.2	5.56 kPa g	A系: 0.07 vol%
		給水系:約1.9 m ³ /h			B系: 0.08 vol%
3号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系:約3.5m ³ /h	36.5	0.26 kPa g	A系: 0.21 vol%
		給水系:約1.8 m ³ /h			B系: 0.19 vol%

* 絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

【1～3号機】・12/20 15:55 原子炉への注水量の低下が確認されたため、以下の通り注水量の調整を実施。

- 1号機:給水系からの注水量を約2.3m³/hから約2.5m³/h、炉心スプレイ系からの注水量を約1.8m³/hから約2.0m³/hに調整。
- 2号機:給水系からの注水量を約1.9m³/hから約2.0m³/h、炉心スプレイ系からの注水量を約3.4m³/hから約3.5m³/hに調整。
- 3号機:給水系からの注水量を約1.8m³/hから約2.0m³/h、炉心スプレイ系からの注水量を約3.4m³/hから約3.5m³/hに調整。

< 2. 使用済燃料プールの状況 > (12/20 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	13.5
2号機	循環冷却システム	運転中	13.7
3号機	循環冷却システム	停止中	17.5
4号機	循環冷却システム	運転中	23

* 各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウエルへヒドラジンの注入を適宜実施。

※:使用済燃料プール循環冷却システム停止中のため、至近のデータ(12/20 5:00 現在)を記載。

【3号機】・12/20 9:34 9/22 に使用済燃料プール内に滑り落ちた鉄骨瓦礫の撤去作業を行うため、使用済燃料プール循環冷却システムの一次系を停止。同日 12:50、当該鉄骨瓦礫を使用済燃料プール内から3号機原子炉建屋脇地上部へ吊り上げ移動し、撤去終了。今後、準備が整い次第、使用済燃料プールの冷却を再開予定。なお、撤去作業において使用済燃料プールのライナー損傷やプラントパラメータの異常は確認されていない。また、冷却停止時のプール水温度は約16.7℃で、停止中のプール水温度上昇率については約0.16℃/hと評価していることから、運転上の制限値65℃に対して十分余裕があり、プール水温度管理上問題ない。

< 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元 →	移送先	移送状況
3号機	3号機	集中廃棄物処理施設 [雑固体廃棄物減容 処理建屋 (高温焼却炉建屋)]	12/18 14:00 ~ 移送実施中
	タービン建屋		
6号機	6号機	仮設タンク	12/20 10:00 ~ 15:00 移送実施
	タービン建屋		

<4. 水処理設備および貯蔵設備の状況> (12/20 7:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	除染装置	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)
運転状況	停止中	運転中*	停止中	水バランスをみて 断続運転	水バランスをみて 断続運転

* フィルタの洗浄を適宜実施。

・H23/6/8～ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。

<5. その他>

- ・H23/10/7～ 伐採木の自然発火防止や粉塵飛散防止のため、5, 6号機滞留水の浄化水を利用し、散水を適宜実施中。
- ・H24/2/23～ 6号機サブドレン水について、一時保管タンクを経由した、仮設タンクへの汲み上げ試験を実施中。
- ・H24/3/6 ～ 5号機サブドレン水について、一時保管タンクを経由した、仮設タンクへの汲み上げ試験を実施中。
- ・H24/4/25～ 地下水による海洋汚染拡大防止を目的として、遮水壁の本格施工に着手。

以上